

# 平成29年度予算の概要

**平成29年度市の全体予算**  
868億8302万円

本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。

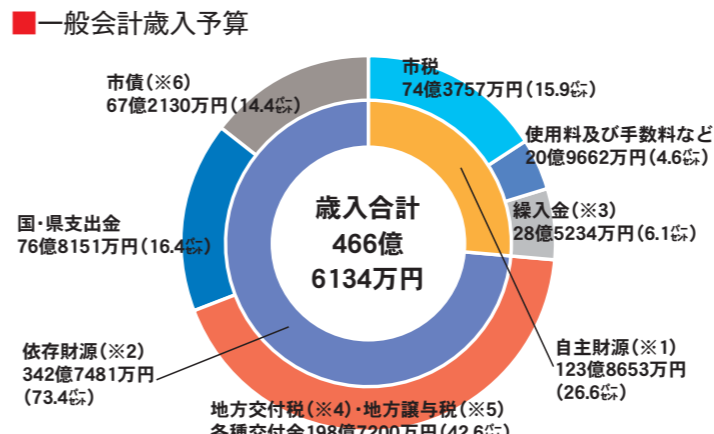
会計ごとの予算額は、左表の通りです。

会計名	平成29年度予算額	全体割合
一般会計	466億6134万円	53.7%
特別会計	266億959万円	30.6%
国民健康保険特別会計	111億7963万円	12.9%
後期高齢者医療特別会計	7億7113万円	0.9%
介護保険特別会計	94億4594万円	10.9%
土地取得特別会計	1億2447万円	0.1%
下水道事業特別会計	49億6404万円	5.7%
宅地造成事業特別会計	1億2438万円	0.1%
企業会計	136億1209万円	15.7%
水道事業会計	42億4970万円	4.9%
病院事業会計	88億6446万円	10.2%
老人保健施設事業会計	4億9793万円	0.6%
合計	868億8302万円	100%

件費などの義務的な経費や前年度から継続している事業、補助事業などで事業実施が既に決定している事業を中心に予算額を計上しています。

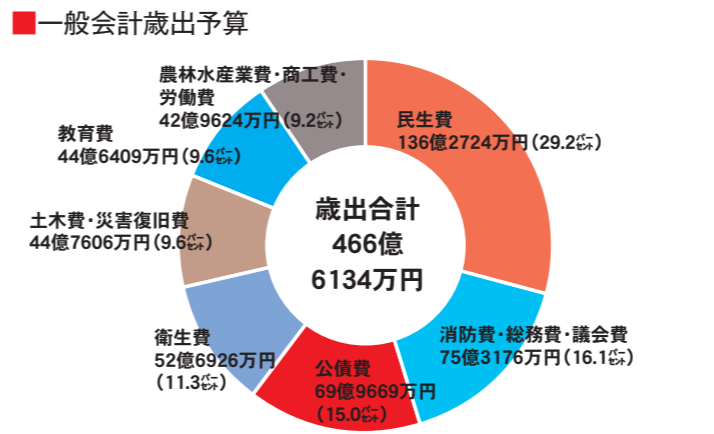
平成29年度の一般会計の予算は466億6134万円、前年度に対して22億326万円の減となりました。

歳入は、地方交付税などの交付金約199億円、国・県支出金約77億円、これらを合わせると約276億円と歳入合計の約60%を占



めています。依然として、国や県などへの依存度が高い状態にあります。

歳入は、子どもや若年寄り、障がい者に対する福祉の充実などに使われる民生費が、約136億円と最も多くなっています。次いで、市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると約75億円。大規模な事業の借入金の返済経費である公債費が、約70億円と続いています。



## 平成29年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

### 1 生きる力と創造力を養い 自ら学ぶ人が「そだつ」まちづくり

【新規】(仮称)東佐沼こども園施設整備事業/幼保連携型認定こども園等施設整備支援補助金/小学校入学祝い金支給事業/学力向上対策事業

【継続】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)/迫児童館整備事業/誕生祝い金支給事業/(仮称)佐沼こども園施設整備事業/(仮称)登米こども園施設整備事業/認定こども園等施設整備補助金/保育料等多子軽減拡大事業/幼稚園授業料等多子軽減拡大事業/学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業/教育用コンピューター更新事業/教育施設備品整備事業/総合型地域スポーツクラブ育成事業/平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)ポート競技大会実施事業

### 2 安全安心な暮らしを支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

【新規】適塩推進対策事業/ミニデイサービス・シニアサロン事業(介護保険特別会計)

【継続】生活困窮者自立相談支援事業/生活困窮者就労準備支援事業/子ども医療費助成事業/ウォーキング推進事業/健康診査事業/予防接種事業/病院事業(繰出金)/消防ポンプ車整備事業/応急手当普及啓発事業/防火水槽整備事業/消防団車両等整備事業/生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

### 3 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

【新規】商店街交流創出事業

【拡充】環境保全型農業推進事業/畜産総合振興対策事業/園芸産地拡大事業

【継続】シティプロモーション推進事業/大学等フィールドワーク誘致促進事業/担い手農地集積推進支援事業

業/農地中間管理事業/農林業系汚染廃棄物処理実証試験事業/日本型直接支払制度(多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型直接支払事業)/地域材需要拡大支援事業/森林認証取得支援事業/ビジネスチャンス支援事業/サテライトオフィス等開設支援事業/観光公園等施設改修・修繕事業/(仮称)登米インター工業団地整備事業(宅地造成事業特別会計)

### 4 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

【新規】道路維持管理事業(段差解消事業等)/都市計画マスタープランほか改定業務/市営住宅建替事業/公営住宅等整備計画策定業務

【拡充】移住・定住促進事業/住まいサポート事業

【継続】空き家改修事業/平沼沼水質向上対策事業/住宅用新・省エネルギー設備導入支援事業/一般廃棄物第二処理施設(新クリーンセンター)整備事業/基幹水道構造物耐震化事業(下り松ポンプ場築造事業)(水道事業会計)/市道舗装補修事業/道路定期点検事業/道路新設改良事業/橋りょう補修事業(橋梁長寿命化事業)/下水道整備事業(繰出金)/地域集会所耐震改修等助成事業

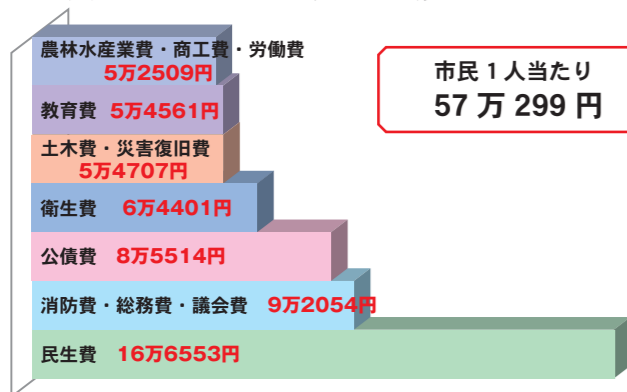
### 5 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

【継続】ふるさと応援寄附金事業/固定資産(公有財産)台帳整備事業/未来のまちづくり支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市ホームページ(<http://www.city.tome.miyagi.jp>)の「行政情報」→「市の財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159

### ■市民1人当たりで計算した場合



平成29年度の一般会計予算額、約467億円を、市民1人当たりでどれぐらい使われるか計算したものが、左のグラフです(29年2月末の本市の人口8万1819人で計算しています)。

分野別で一番大きなウエートを占めているのは民生費で、1人当たり約16万7千円。次いで消防費、総務費、議会費は約9万2千円、公債費が約8万6千円で続きます。

予算を一人当たりにする中で、本市は、子育てや介護などの福祉や市民の安全・安心に力を入れていることが見えてきます。

### 市民1人当たり約57万円 福祉と安全・安心に注力

- 【会計区分の解説】
- ▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策にかかる経費の会計
  - ▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計
  - ▼企業会計(※3) 病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計
- 【歳入科目の解説】
- ▼自主財源(※1) 市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
  - ▼依存財源(※2) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助。市債は金融機関からの借入れに当たる
  - ▼繰入金(※3) 市の基金(貯金)を取り崩したものである
  - ▼地方交付税(※4) 市町村が、一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される
  - ▼地方譲与税(※5) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
  - ▼市債(※6) 事業をする際に借り入れるもの
- 【歳出科目の解説】
- ▼民生費 子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
  - ▼消防費、総務費、議会費 市民を守る消防、救急や市の管理業務、議会運営など
  - ▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済
  - ▼衛生費 健康づくりや環境対策など
  - ▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や、多彩な商工業の進展、雇用対策など
  - ▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般
  - ▼土木費、災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修